

学校名	路線名	通学路の状況	対策内容	事業主体
駒形小	弥勒三丁目南安倍町線 駒形通六丁目弥勒町三丁目線	弥勒交番南側の道路が朝の時間帯交通規制が行われているため、迂回する車が駒形小学校北側の狭い道路に入り、上記道路をかなりのスピードで通行していく。学校西門は多くの児童が登下校しており、付近は五差路となっている。道幅も狭く、一旦停止や横断歩道は一箇所しかないため、車の通行時は大変危険である。	ダイヤの塗り直しを実施した。 注意喚起の路面標示、交差点カラー化、外側線・グリーンベルト塗り直し、ラバーポール設置を実施した。 自治会から横断歩道設置を求める要望書の作成を依頼している。作成次第、警察に提出する予定である。	警察 道路 学校
安西小	呉服町通線	朝は多くの車や自転車と歩行者が行き交う。安西通りへとつながる道路には車輛用の信号機があり、歩行者用の信号機がない。また、十字に交わる細い道路には信号機がない。このため、特に低学年児童が信号状況の認識が難しく、道路横断での事故が心配される。	交通量実態調査の結果、信号機・横断歩道の新設は不可。令和 7 年 3 月に各学級担任から児童へ、信号のない横断歩道の安全な渡り方を指導した。	警察 学校
北沼上小	上土長尾線	道路に面した山の斜面から枝が垂れ下がったり、グリーンベルト沿いに草が覆い茂ったりしていて、子どもたちが白線をはみ出て歩行しなくてはならなくなっている。	木の枝等の伐採を実施した。	道路
北沼上小	上土長尾線	グリーンベルト沿いのガードレールが一部切れているところがある。川に面しているため、児童がガードレールの無い部分から川に落下する可能性がある。	ガードレールを設置した。	道路
麻機小	有永漆山線	くの字に曲がっていることから、車の運転手から横断歩道や歩行者が見えにく状況がある。朝は、車両の通行量も多いため、何かしらの対応が必要に感じる。	児童停止マークを設置した。	道路
西奈小	北沼上瀬名線 瀬名西川原川久保線	児童が登校する 7:00 から 8:00 の間、幅約 6 m の道路を南北に通る車両の交通量が多く、PTA 保護者の旗振りを行っているが、道路を横断する児童が危険である。	横断歩道について、令和 8 年度実施の交通安全施設等整備事業計画のヒアリングにのせて、本部と設置について検討する。 該当 T 字路については、安全担当が通学児童を確認し、安全指導を行った。	警察 学校
西奈南小	瀬名内坪線	通学路に児童の身長を超えるブロック塀があり、道路が死角になっている。道路側からも車からは全く児童を確認できない。丁字路出口のカーブミラーに一旦停止の表示はあるが小さく見難いため、見落とす運転者も多い。道路は狭いが渋滞を避けるために焦っている車が通ることがあり、一旦停止せずに歩道を横切ろうとするため危険である。	一時停止は交通量実態調査の結果、設置不可。	警察
西奈南小	瀬名住公団地 1 号線	ブロックで死角になった位置から車が突然出てくる場所の歩道に段差があり、児童がつまずきケガをすることがある。	傾斜をなだらかにする工事を実施した。	道路
松野小	油山橋本日向線	曙橋の方から来る車がや油山温泉の方から車がスピードを出して走っていて、この交差点で止まらない。子どもが登下校時に渡る交差点であり、道幅も狭く、非常に危険である。	歩行者注意、交差点注意、交差点クロスマーク、外側線の路面標示を実施した。 「交通安全リーダーと語る会」では、リーダーの 5・6 年生が安全な登下校のために気をつけることを全校児童に呼びかけ、安全への意識を高めた。集団下校の際に職員からも声を掛け、児童が自ら自動車に気をつけるよう意識させた。	道路 学校

学校名	路線名	通学路の状況	対策内容	事業 主体
大河内小 中	主要地方道梅ヶ島温泉 昭和線 梅ヶ島 街道	街道を走る車がかなりのスピードを出して走行しているので、児童生徒が横断歩道 を渡ろうとして待っていても、止まる車はあまりない状況である。	白破線（ドット）、注意喚起の路面標示を実施した。	道路
大河内小 中	主要地方道梅ヶ島温泉 昭和線 梅ヶ島 街道	児童生徒が横断歩道を渡ろうとして待っていても、止まる車はあまりない状況であ る。また、児童生徒が横断歩道付近で立っていることにあまり気付かれない様子で ある。	白破線（ドット）、注意喚起の路面標示を実施した。 交通安全教室でも、渡る前に左右を確認してから渡る指導し ていただいた。また、日常生活でも、折に触れて交通安全に ついて話をしている。	道路 学校
大河内小 中	主要地方道梅ヶ島温泉 昭和線 梅ヶ島 街道	手押し信号があるが、利用者が少ないので信号が変わる機会が少ないため、赤信 号になっても通行する車両が見られることがある。 特に下校の際、バス通学（バス停を13:56、15:20、16:25発）している児童生徒が 横断歩道を渡る時が危険。	当該箇所の取り締まりは通常業務の中で実施していく。 交通安全教室で、信号のある横断歩道であっても左右を確認 してから横断することを指導していただいた。日常生活で も、児童生徒がこの横断歩道を渡るときには可能な限り教員 が付き添い、左右を確認してから渡る指導を継続している。	警察 学校
梅ヶ島小 中	梅ヶ島温泉昭和線（県道 2 9 号）	横断歩道の直前に急カーブがある。バス停留所と県道を挟んで反対側との往来の 際、大型車の接近を察知することが難しい（特に静岡市街方面から走行してくる 車）。昨年度 8 月に付近で自転車と自動車の接触事故が発生した。	当該箇所を使用する児童生徒に対して、安全指導を行った。	学校
大川小中	南アルプス公園線	道路脇の斜面が急なため、上からの落石が心配される。	法面のモルタル吹付上部に柵を設置した。	道路
賤機中	牛妻自転車歩行者専用道線	10月後半から 2 月にかけては日没が早く、下校時に当該道路を生徒が通行する際 に道路が暗くて危険。	照明設備設置は、令和 7 年 3 月末頃完成予定で点灯は、令和 7 年 4 月以降を予定。	道路
久能小	大谷久能線	車同士がようやくすれ違うほどの狭い道幅だが、国道150号線バイパスの渋滞回避 のために多くの自動車が久能街道を利用し、児童の登校時刻に頻繁に通過してい る。	安全な登校の仕方については、生徒指導担当が休み前や機会 を見つけて児童に話をしている。今後も、教員、保護者、地 域で連携して交通安全指導を行っていく。	学校
森下小	森下八幡線	グリーンベルトおよび外側線が薄くなっている。	南幹線より北側は視認できたことから、南幹線より南側の外 側線、クロスマークの塗り直しを実施した。	警察
西豊田小	御幸町柚木旧東海道線	横断歩道の白線や横断歩道があることを知らせる道路標識が消えかかっている、自 動車等の運転者にとって視認性が悪い。子供の登下校の安全が守られにくい状況。	横断歩道の塗り直しを実施した。 「速度落とせ」「止まれ」の路面標示の塗り直しを実施し た。	警察 道路
富士見小	中野小鹿線	登校時に歩道橋から、道路に降りる際に道幅が狭く見通しも悪いため、歩道を利用 する歩行者や自転車との接触事故が起きる可能性がある。	登校時には、地域の交通指導員が見守り、声掛けを行って いる。学級で該当箇所を通る子に安全な登下校をするように 指導を行い、集団下校時には職員が該当箇所の様子を確認し て児童に指導を行った。	学校
南部小	中田有東2号線	グリーンベルト内に電柱が設置されているため、通行時に車との接触の危険があ る。幼稚園の敷地沿いの道路であるため、雨天時に送迎の車列ができ、狭い車道が さらに混雑する状況になる。	「止まれ」の強調表示の塗り直しを実施した。 最高速度「30」の塗り直しについては、令和 7 年度対応を検 討している。	道路 警察

学校名	路線名	通学路の状況	対策内容	事業主体
長田東小	東新田区画3号線 東新田安倍川1号線	学校周辺地域となるため横断歩道を渡る子どもが多くいる。自動車の往来もある。その横断歩道が見えにくくなっていることに加え、一時停止線も薄くなっている。また、西から東への道路に対して減速のための対策をお願いしたい。さらに、全校児童が通る正門付近のグリーンベルトの塗り替えや減速のための対策をお願いしたい。	交差点及び学校前グリーンベルトの塗り直しを実施した。横断歩道、一時停止線、ダイヤモンド、最高速度「30」の塗り直しについては、令和 7 年度対応を検討している。	道路警察
清水入江小	桜橋町追分二丁目 1 号線	入江小東門の前の車道を渡って登下校する時に、横断歩道がないため、左右の安全確認を十分にすることがある。また、車から歩行者も見えにくいため車との接触が心配される。	横断歩道設置については、令和 7 年 3 月の県警本部からの回答待ち。	警察
清水浜田小	袖師村松線	小学校前に歩道橋が設置されている。駐車場・駐輪場もあり、多くの車両が出入りするが、歩道橋があることで死角ができ、見通しが悪い状況である。（5 月上旬現在は歩道橋改修工事のための覆いがあり、多くの死角ができ、より見通しが悪い状況である。）歩道橋撤去に関しては、自治会からも市に要請している。	職員による歩道橋付近の見守り、子どもたちに向けた安全指導を継続して実施していく。	学校
清水岡小	入江不二見線 駒越不二見線	歩道橋があるため歩道の幅が狭く通行しにくい状況があり、特に朝の登校時には高校生等の自転車が多数通るため、児童と自転車との接触の危険がある。	雑草の除草、ラバーポールの「歩行者優先」は変更を実施した。 学校、生徒への交通安全指導は、交通安全担当の部署が実施している。 ブルーレーンの誘導標示、路面標示については地元の交通安全会と対応方法を検討中。 各学級で交通安全指導を行った。	道路警察 学校
清水岡小	港町下清水線	歩道が片側（北側）にしかなく、登下校どちらもそこを通るため、対向車（自転車含む）と接触する危険がある。南側はグリーンベルト塗装がされているが、歩道が確保されていないため、通学路としては指定していない。	横断歩道の塗り直しを実施した。 標識や標示等の設置及び塗り直しについて、令和 7 年度対応を検討している。 各学級で交通安全指導を行った。	道路警察 学校
清水有度二小	草薙日本平線	この路線は住宅地から主要道路に出る道路であり、特に登校時は通勤自動車の通行が多い。歩道は設置しておらずグリーンベルトとなっているが、幅がせまく、雨天時には車両との接触による甚大な事故が心配される。また、グリーンベルトの表示が消えかかっていたり、路面状態の悪化により非常に歩きにくくなっていたりしている。	外側線及びグリーンベルトの塗り直しについて、令和 7 年度対応を検討している。	道路
清水有度二小	第七中学校東側線	道幅が急に狭くなることから、車両と歩行者の距離が近づき、非常に危険を感じる。グリーンベルト沿いは高所から降りてくる車両で、速度も出ている。登校時は、高校生や一般の自転車も併走し、さらに危険度も増す。	山の手自治会に話し、検討していただいた結果、ガードレールは設置不可。 児童には引き続き教員による下校指導や日頃の学級での安全指導をはじめ、登下校中の歩行の仕方や危険箇所への注意喚起を随時行っていく。	学校
清水有度二小	草薙日本平線	ラバーポールが 2 本破損しており、児童が通行する際に危険である。	ラバーポールの設置について、令和 7 年度対応を検討している。	道路

学校名	路線名	通学路の状況	対策内容	事業 主体
清水三保 一小	羽衣28号線 塚間本村1号線	一時停止表示が西側向き方向にはなく、東側からの自動車が優先されている。また、ほかの三方の一時停止線が消えかかっており、不明瞭。横断歩道もとても薄く、消えている。	停止線、横断歩道の塗り直しを実施した。 「止まれ」の路面標示の塗り直しについて、令和 7 年度対応を検討している。 西側方向停止線に関しては、自治会と引き続き、来年度も検討していく。	警察 道路 学校
清水三保 一小	折戸三保1号線 塚間羽衣1号線	柴ストア前から日本軽金属に向かう道路は、東海大学前交差点から入ると信号がなく、裏道として大型トラック、ダンプカーがかなりのスピードで走る。両サイドが住宅地で途中に横断歩道がない。 アイテックに向かう道路は、朝晩にアイテックやカナサシ重工からの大型トラック、トレーラーが走り、2台すれ違うのが難しいほどの道幅で歩行者を保護するものがない。	ラバーポールの修繕を実施した。 外側線、グリーンベルトの塗り直しやラバーポールの新規設置について、令和 7 年度対応を検討している。 夏季休業明けの9月初めに、当該箇所を歩行する児童を集め、衛星写真を提示しながら危険個所の説明を行った。当該交差点で信号待ちをするときや、グリーンベルトを歩くときの交通安全指導をし、児童が互いに声を掛け合いながら安全に歩行することを確認した。	道路 学校
清水飯田 小	下野山原線	車が様々な方向から通行するため、周りをよく見て横断歩道を渡っても車の視認漏れが発生しやすい。	停止線について、令和 7 年度に塗り直しを実施する。 来年度に関係団体と連絡を取り、提示された対策案について協議する。	警察 学校 道路
清水飯田 東小	高橋三丁目下野北線 八坂西町高橋二丁目線 高橋二丁目 2 号線	赤線通学路は生活道路であるが、抜け道になっているため交通量が意外と多く、スピード（30km/時以上）を出して走行している車両が多いと感じるため、日々危険性を認識している。特に、八坂方面から来る及び八坂方面へ向かっていく車両が多い。高校生の自転車もよく通行する。規制標識はあるが、速度対策の表示等はない。東西にわたる道は大変狭く、車同士がすれ違う時には、歩道に乗り上げてきて危険である。	注意喚起の路面標示を実施した。	道路
清水高部 小	押切吉川線	バイパス側道を走行する自転車（主に高校生）が通ってはいけない道を進行するため、見通しの悪い交差点で登校時の児童と衝突したり、衝突しそうになったりすることが多発している。	ラバーポール、注意喚起の看板、自転車の案内標識の設置を実施した。	国道
清水袖師 小	清水富士宮線	西久保471交差点は、道が細い上に一方通行ではない交差点のため、交通が多く大変危険な場所である。交差点の北側の道には歩道があるが、抜け道がある東側とは逆にあるため、結局は交差点を通るしかない。他にも①角にコンビニエンスストアもできたため、店への出入りがあって車の動線が入り乱れる。②北側から来る車にとっては、東側の道が全くの死角。③横断歩道はあるが、電柱等で死角になり、歩行者が気を遣わなければならない。など、様々な危険が予測される。 西久保111ー 1 交差点は、児童が横断歩道前で待機しているが、通行車両が止まらずなかなか横断できない。	・西久保471交差点 通学路になっておらず、車両が多いことやハード面もこれ以上の対策が難しいことから、登下校で通行しない。 ・西久保111ー 1 交差点 停止線、横断歩道の塗り直しを実施した。 注意喚起の路面標示設置について、令和 7 年度対応を検討している。 安全な登下校の仕方については、生徒指導担当や各クラス担任が休み前や機会を見つけて児童に話をした。今後も引き続き、登下校の指導を行っていく。	道路 警察 学校

学校名	路線名	通学路の状況	対策内容	事業 主体
清水興津小	興津井上町東名側道1号線	カーブの先の興津生コンのところにある横断歩道が消えているため、運転者が横断者がいるかもしれないと予測できず危険である。また、本校児童が集団登校時に（1列で15人ほど）渡るのだが、横断歩道がなく渡りづらい。低学年が横断しているのを大型車では目視しづらく危険である。	横断歩道及び外側線の塗り直し、標識設置を実施した。	警察
清水小島小	小島町10号線	駐車場と道路の境界付近に高低差がある。通学路として歩いていた児童が転落したとの情報がある。	転落防止柵を設置した。	道路
清水小河内小	国道52号線 (小河内自治会館付近～蓮華寺付近)	国道52号線はゆるやかな傾斜のあるカーブが多い道路のため、車のスピードがでやすい形状をしている。さらに、普通車はもちろんトラックなどの大型の交通量がとても多い。そのため、歩行者通路と車道の間に境(ブロック、フェンス、段差)はあるが、歩行者通路の幅が狭く運転手からはその境がわかりにくく、車との接触が心配される。	来年度から部分的に縁石の上にラバーポールの設置を実施の予定。	国道
清水小河内小	国道52号線 (小島生涯学習交流館付近～番古付近)	国道52号線はゆるやかな傾斜のあるカーブが多い道路のため、車のスピードがでやすい形状をしている。さらに、普通車はもちろんトラックなどの大型の交通量がとても多い。そのため、歩行者通路と車道の間に境(ブロック、フェンス、段差)はあるが、歩行者通路の幅が狭く運転手からはその境がわかりにくく、車との接触が心配される。	来年度から部分的に縁石の上にラバーポールの設置を実施の予定。	国道
清水小河内小	国道52号線 (中里橋付近～宮の脇付近)	国道52号線はゆるやかな傾斜のあるカーブが多い道路のため、車のスピードがでやすい形状をしている。さらに、普通車はもちろんトラックなどの大型の交通量がとても多い。そのため、歩行者通路と車道の間に境(ブロック、フェンス、段差)はあるが、歩行者通路の幅が狭く運転手からはその境がわかりにくく、車との接触が心配される。	来年度から部分的に縁石の上にラバーポールの設置を実施の予定。	国道
清水小河内小	国道52号線 (中河原小河内信号機付近～中里橋)	国道52号線はゆるやかな傾斜のあるカーブが多い道路のため、車のスピードがでやすい形状をしている。さらに、普通車はもちろんトラックなどの大型の交通量がとても多い。そのため、歩行者通路と車道の間に境(ブロック、フェンス、段差)はあるが、歩行者通路の幅が狭く運転手からはその境がわかりにくく、車との接触が心配される。	来年度から部分的に縁石の上にラバーポールの設置を実施の予定。	国道
清水小河内小	国道52号線 (番古付近～中河原小河内信号機付近)	国道52号線はゆるやかな傾斜のあるカーブが多い道路のため、車のスピードがでやすい形状をしている。さらに、普通車はもちろんトラックなどの大型の交通量がとても多い。そのため、歩行者通路と車道の間に境(ブロック、フェンス、段差)はあるが、歩行者通路の幅が狭く運転手からはその境がわかりにくく、車との接触が心配される。	来年度から部分的に縁石の上にラバーポールの設置を実施の予定。	国道
清水両河内小中	大向福士線（和田島地内）	昨年の台風15号の影響により河川が氾濫したため、道路が崩落し復旧工事を行っていて片側交互通行になっている。	復旧作業を実施した。	道路
清水両河内小中	大向福士線（河内地内）	昨年の台風15号の影響により河川が氾濫したため、道路が崩落し復旧工事を行っていて片側交互通行になっている。	今年度中に工事は完了予定。	道路
清水両河内小中	高瀬福士線（中河内地内）	昨年の台風15号の影響により土砂崩れがあったため、復旧工事を行っていて片側交互通行になっている。	復旧作業を実施した。	道路

学校名	路線名	通学路の状況	対策内容	事業 主体
清水両河 内小中	高瀬福土線（清地・中河内地内）	昨年台風 15 号の影響により土砂崩れがあったため復旧工事を行っている。川と土砂崩れ箇所には挟まれているため、通行が危険である。	ガードレール設置について、令和 7 年度に対応予定。	道路
清水両河 内小中	清水富士宮線（清水区清地）	昨年台風 15 号の影響により道路が崩落し復旧工事を行っていて片側交互通行になっている。	復旧作業を実施した。	道路